

慢性硬膜下血腫(穿頭血腫除去術)を受ける患者さんへ



患者名		様	主治医		担当看護師		
経過	入院日(手術前日)	手術当日(手術前)		手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2～7日目	手術後8～10日目
日付	/	/		/	/	/	～
患者の達成目標	・手術の準備をすることができている ・不安なことが伝えられ、安心して手術を受けることができる		・頭の管が抜けないよう安静を保つことができる ・手術後の苦痛を伝えることができる ・意識障害や麻痺などの神経症状が改善する		・頭の管が抜けないよう安静を保つことができる ・頭の管を抜くことができる ・手術後の苦痛を伝えることができる ・痛みのコントロールができて安楽に過ごすことができる ・意識障害や麻痺などの神経症状が改善する	・創部の清潔が保持でき、異常がない ・リハビリが開始でき、日常生活が拡大する ・痛みのコントロールができて安楽に過ごすことができる ・意識障害や麻痺などの神経症状が改善する	・退院又は転院できる ・退院後の生活の注意点が理解できる ・意識障害や麻痺などの神経症状が改善する
	治療処置		・手術着に着替え、弾性ストッキングを着用します ・点滴をします ・眼鏡、コンタクトレンズなどの装飾品は外し、貴重品はご家族に預けて下さい ・手術室で、手術をする部位の髪を剃ります	・心電図モニターを付けます ・頭部にチューブが入っています ・酸素マスクを付けます(必要時のみ) ・点滴をします	・検査で問題がなければ頭部のチューブを抜き、ガーゼを当てます ・点滴をします	・点滴をします(手術後2日目まで) ・術後7日目以降に抜糸をします	
検査	・血液検査、CT、胸部レントゲン、心電図など、手術に備えて検査を行います				・頭のCT検を行います		
薬剤	・普段使っている飲み薬、塗り薬、貼り薬、水薬、目薬を確認します(病院で同じものをすぐに用意できない場合があります)	・指示のある薬飲み内服します			・指示のある薬のみ内服を開始します		
食事	・病院食がです	・飲んだり食べたりできません ・喉が渴いた時にはうがいが出ます			・頭のCTの結果で食事を昼から再開します		
安静・活動	・病状や歩行状況に応じ車いすや歩行器を使用します		・ベッド上安静です ・頭にチューブが入っているため、頭を上げることができません(横向きになる場合は看護師が手伝います)		・頭のチューブが抜けたら、トイレなどから少しずつ活動を開始します(必ず看護師が付き添います)	・リハビリが始まります ・転ばないように注意しましょう	
排泄	・特に制限はありません	・手術室で尿管が入ります(病棟に入れて手術室に行く場合があります)			・尿管を抜いて、トイレに行けます		
清潔		・シャワー浴はできません			・看護師が身体を拭きます	・看護師が身体を拭きます ・医師より許可がでたらシャワー浴できます(創部は優しく洗いましょう)	
患者家族への説明	・医師が治療について説明します ・同意書が必要です ・署名後の書類は看護師へ渡してください ・転倒、転落に注意して下さい(退院まで)	〈退院時指導〉 ・慢性硬膜下血腫は、転んだりした後に脳を包む膜(硬膜)と脳の表面との間に少しずつ血のかたまり(血腫)がたまる病気です ・退院後、日常生活に制限はありませんが、転んだり、頭をぶつけないように注意して下さい ・アルコールは飲み過ぎないようにしましょう ・頭痛、物忘れ、歩きにくい、手足に力が入らない等の症状がある場合は速やかに受診して下さい					

※この予定表はあくまでもおおよその目安です。個々の身体能力、体調等により経過は様々です。この表より達成が遅れると治りが悪いということではありません。

※ご不明な点はお気軽にスタッフにおたずねください。

2025年03月 改訂